

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

令和元年六月度 入選句 (投稿総数二千五百七十七句・小中学投句数千九百五十一句)

特選

ほたるさんきえては光りかくれんぼ 大垣市 原 志 織(小三)

「かくれんぼ」という表現がいいですね。作者は、夜の川辺にほたる見物に出かけたのですね。そこでは、たくさんほたるが、光りを点滅させながら乱舞している光景に出会ったのです。その様子をほたるたちがまるで「かくれんぼ」をしているみたいだということです。ほたるの一匹一匹が光りを点滅させて群れとぶ様子が目に浮かんでくるようです。

おかわりの筍飯に祖母笑顔 加茂郡川辺町安江 帆 純(中三)

作者と祖母のほのぼのと心あたたまる雰囲気伝わってくる一句です。おばあさんが炊いてくれた筍飯(たけのこめし)夏の季語)がおいしくておかわりをしたところ、おばあさんは笑顔でこたえてくれたですね。

明るく楽しそうな夕飯のひとときがうかがえる一句となりました。

つゆぞらにかさのはなさくかえりみち 大垣市 渡 邊 咲 菜(小二)

六月中旬から一か月は、梅雨の雨季です。「かさのはなさく」が、いいですね。つゆぞらという暗いイメージをくつがえすように、色とりどりの雨傘をさして家路を急ぐ、集団下校の一隊を明るく詠い上げることが出来ました。

秀逸

おそろいの浴衣姿で歩く夜 加茂郡川辺町 石 井 奈々美(中二)

ラケットのフレームに光る西日かな 加茂郡川辺町 山 田 祈 星(中二)

夕焼が真つ赤に僕らでらしてる 加茂郡川辺町 松 下 慶 大(中二)

五月雨の降りゆく朝に開く傘 加茂郡川辺町 宮 脇 将 吾(中三)

日焼したあの子の背中大きいな 加茂郡川辺町 的 場 直 喜(中三)

蠅叩パチンパチンと部屋ひびく 大垣市 芝 合 佑 馬(小六)

あめんぼうきもちよさそうみずのうえ 大垣市 丹 生 こてつ(小二)

白球が夏風乗ってホームラン 大垣市 大 橋 悠 磨(小六)

夏の草ぬいてもぬいても生えてくる 大垣市 鹿 野 涼 那(小六)

おまつりにやたいいっぱいならんでる 大垣市 山 田 美 咲(小三)

入選

ばあちゃんのつくるいちごは世界一	加茂郡川辺町	木下	和奏(中二)
紫陽花の花には雨がよくにあう	加茂郡川辺町	朝日	漣(中二)
雨上がり真青な空に虹が出る	加茂郡川辺町	大鋸	うらら(中二)
葉の上で雨に打たれるかたつむり	加茂郡川辺町	岩田	奈知(中三)
更衣服も気持ちも新しく	加茂郡川辺町	福園	結菜(中三)
輝きを最後にみせる大花火	大垣市	梅宮	恩恵(中二)
ぴかぴかとほたるがとぶよくいせがわ	大垣市	ごとう	りみ(小二)
つかまえたわたしのすきなかぶとむし	大垣市	宮川	夕奈(小二)
かたつむりあめがふつたらうごき出す	大垣市	村岡	莉彩(小二)
かなぶやまホタルきらきらきれいだね	大垣市	馬渕	愛(小二)

入選

かたつむりあめだあめだとうれしそう	大垣市	野呂	歩夢(小二)
なつのうみきらきらひかるほしみたい	大垣市	早ざき	太と(小二)
あげはちよう大きな花にとまってる	大垣市	松岡	佑哉(小四)
水鉄砲右手にかまえ戦闘中	大垣市	遠藤	來花(小六)
思い出と笑顔つくった夏祭り	大垣市	清水	もも(小六)
負けないぞ線香花火息をのむ	大垣市	廣瀬	光雅(小六)
うしがえるケロケロなくよかわいいな	大垣市	山田	いおり(小二)
かぶとむしつかまえたらねにがそうね	大垣市	リュウイ	シェン(小二)
かわむこうほたるがとんでほしのよう	大垣市	そうみや	かすみ(小二)
風りんはキレイな音をかなでるよ	大垣市	山中	ゆず(小三)

選者吟

雨にぬれ雨をこぼして濃あぢさゐ

幹郎